

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における新東淀中学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成27年4月から7月末までの期間に、2年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 子供の体力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・新東淀中学校では、2年生 227名

3 調査内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「児童・生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成27年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立新東淀中学校

生徒数

227

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.29	26.76	42.12	54.13		79.20	8.20	191.94	23.07	41.72
大阪市	29.04	27.17	41.05	51.03	406.99	83.23	8.13	189.56	20.23	40.62
全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
女子	24.67	23.28	43.27	44.16		55.82	9.13	162.20	14.09	47.91
大阪市	23.89	22.98	44.11	45.89	304.14	57.34	8.99	166.02	12.84	48.12
全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08

結果の概要

男子は、上体起こし、20mシャトルラン、50m走の3種目以外は大阪市の平均を上回る良い結果となった。体力合計点については、大阪市平均を1.10ポイント上回ることができたが、全国平均は僅かながら0.17ポイント下回る結果であった。

女子は、握力、上体起こし、ハンドボール投げは、大阪市の平均を上回ることができたが、残念ながらその他の種目は下回る結果であった。体力合計点については、大阪市平均を0.21ポイント下回り、全国平均を1.17ポイント下回る結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

記録を計測する種目では、記録の結果を校内掲示し、比較できるようにすることで生徒一人ひとりの意識向上を図ることができた。意識向上の結果として、次の課題をみつけることにも大きくつながった。

体育の授業では、記録の得点を明確化し、個人の目標を立てやすくした結果、記録の向上につなげることができた。技能に関する目標設定もしていたが、上達したと感じる生徒が残念ながら少数であった。目標設定をより細かく設定することで、少しでも上達したと感じれとれるようにして、技能が向上するようにしていきたい。

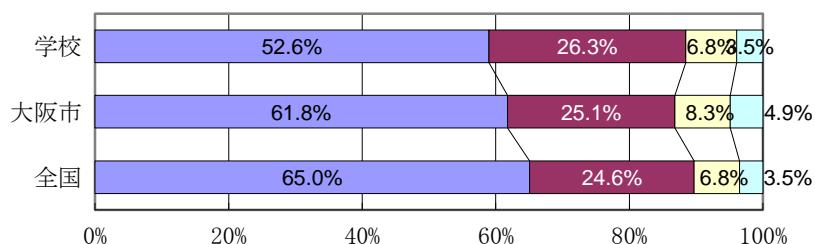
体力が向上するように、筋力トレーニングを毎時間継続して行ったが、全国平均を下回る項目があった。限られた時間の中で行うトレーニングを行うので、トレーニングの質の向上を進めていきたい。特に、けがの防止にもつながる柔軟性の向上を重点的に行っていきたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

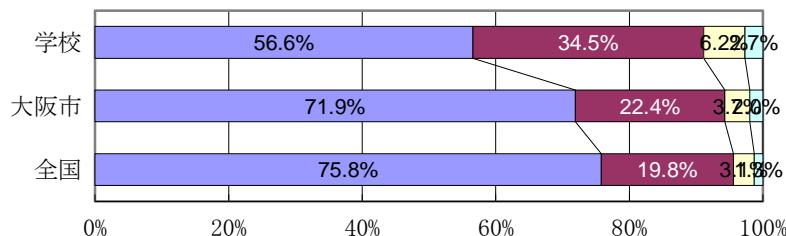
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□やややきらい
□やきらい

2

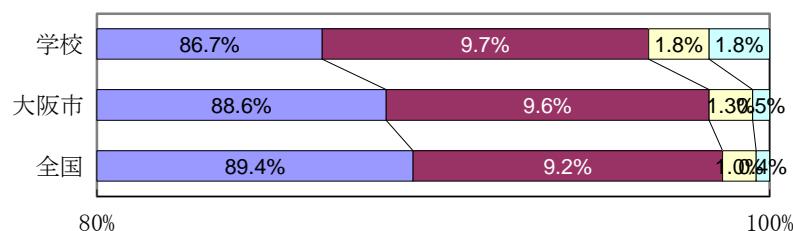
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは得意ですか



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

4

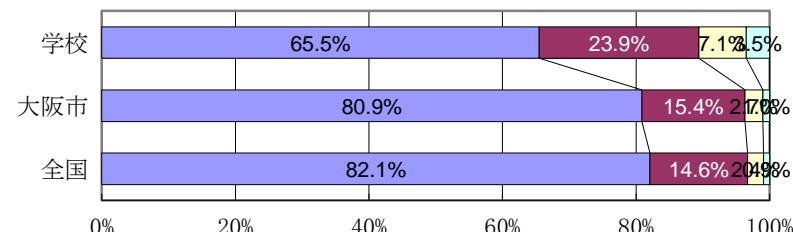
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

6

中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

成果と課題

毎時間の筋力トレーニング等を行った結果、昨年度よりも体力合計点が向上した。しかし、全国平均よりも下回っている。

興味があるかないかで、授業の取り組みに差があり、それが体力向上に影響していると考えられる。「運動が好き」と答える生徒の数が増えるよう授業を工夫していきたい。

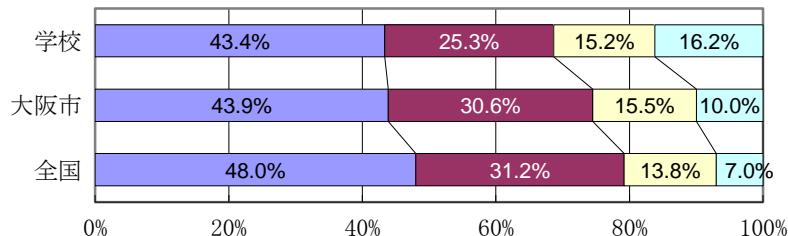
今後の取組

細かい課題設定をし、個別指導・グループ活動を行い技能向上に努める。個人の目標を設定することで、目標が達成された時に、運動に対して自信が持てるようになると考えられる。そのことが、「スポーツ・運動が好き」につながればと考えている。

運動やスポーツについて（女子）

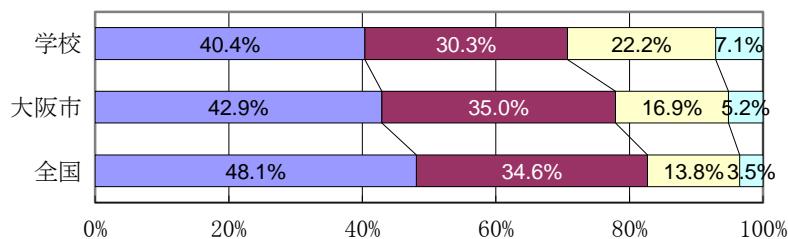
質問番号	質問事項
------	------

1
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



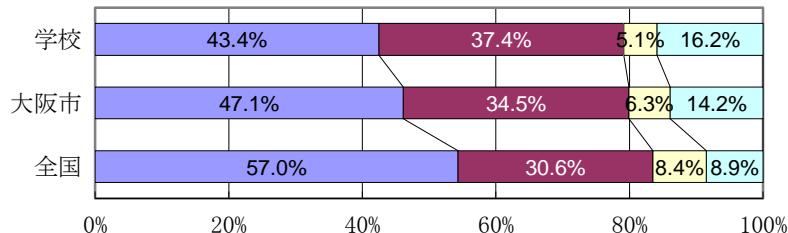
- 好き
- やや好き
- ややきらい
- きらい

4
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



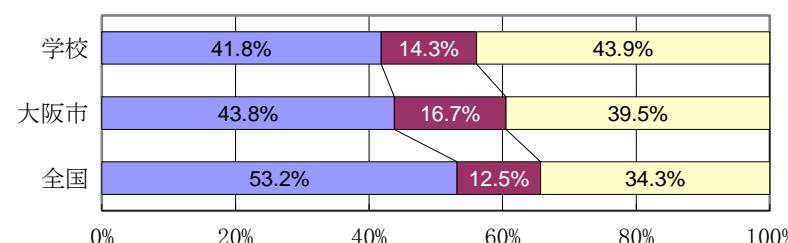
- 大切
- やや大切
- あまり大切ではない
- 大切ではない

5
学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。当時はまるもの全て選んでください。



- 運動部
- 文化部
- 地域のスポーツクラブ
- 所属していない

6
中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



- 思う
- 患わない
- 分からない
- その他

成果と課題

運動やスポーツをすることに対して、興味を持っている生徒が全国平均・大阪市平均より少なく、「嫌い」「大切ではない」と感じている生徒が多い。また、学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属している割合も全国平均・大阪市平均より少なく、逆に文化部に所属している生徒の割合が全国平均・大阪市平均より多い。しかし、卒業後も自主的に運動する時間を持つかどうかについては「わからない」と答えている割合が多いので、運動に親しむ心をつくっていけるような指導につなげていきたい。

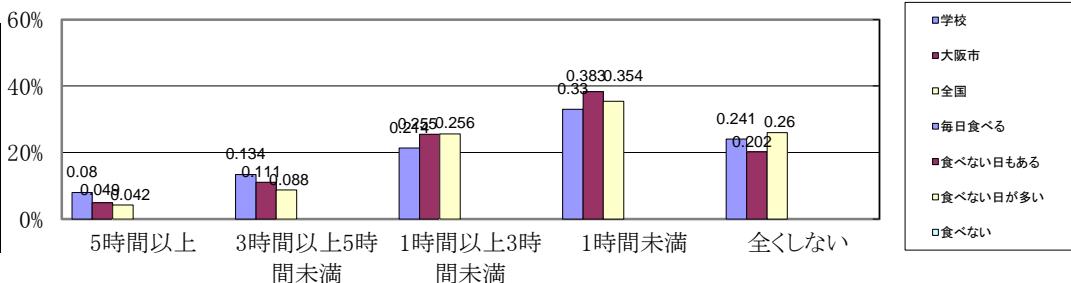
今後の取組

保健体育の授業ではさまざまな運動・スポーツにおいて、結果だけにこだわらず、取り組む内容についてそれぞれの生徒に応じた目標の設定を工夫したい。そして、生徒自身が「スポーツは楽しい」と感じられるような機会となるよう努めたい。また、健康を保持増進していくためには、生涯にわたって適度な運動やスポーツを続けていくことが大切であることを普段の授業から「楽しい」という経験を積み重ねて学んでいけるように取り組んでいきたい。

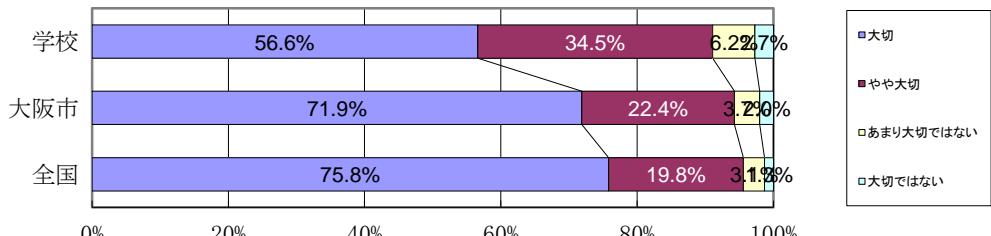
ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

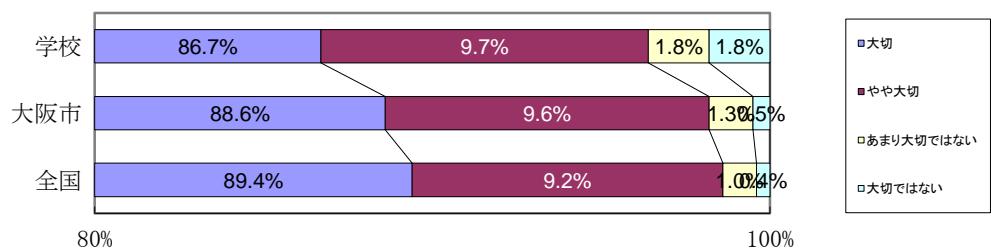
14
ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く)



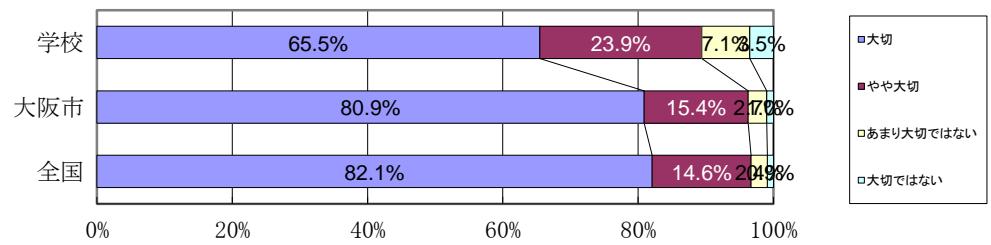
19-1
あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



19-2
あなたが健康でいるために食事をしっかりとることはどのくらい大切だと考えていますか。



19-3
あなたが健康でいるためによくねることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

食育の授業を行うことで、「食」に対しての意識は高くなってきた。しかし、運動・睡眠に対してはあまり重要視していないのがアンケート結果からもよくわかる。若さが一つの要因として、寝なくても、運動しなくても大丈夫と思っている生徒が多いように感じられる。今後の意識改善が必要である。

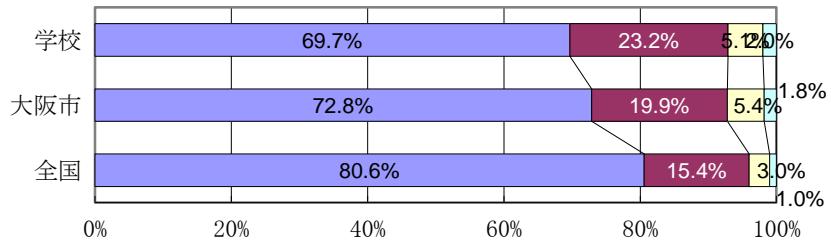
今後の取組

生活習慣を、改善しなければ健康にどのような影響が出るか具体的に説明を行って、健康に対しての意識向上につなげていくことができるようしていく。

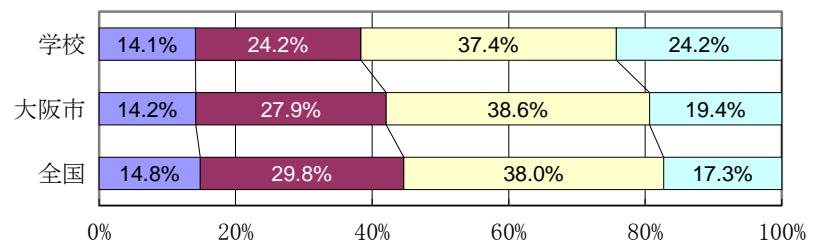
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

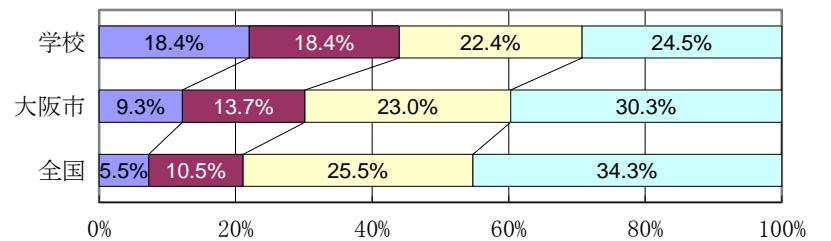
8
朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



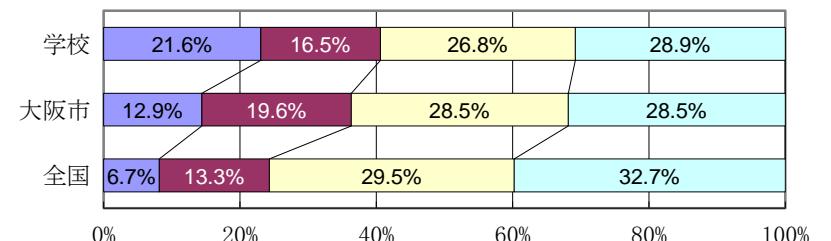
15
家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



13
ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)を使いますか



14
ふだんの平日(月一金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間を除く)



成果と課題

朝食を「毎日食べる」生徒が全国平均に比べて少なく、「食べない日もある」生徒が多いことについては、保健体育の授業の中や総合の時間の取り組みの中で、その重要性についてもっと関心を持ち、理解できるように取り組んでいくことが必要である。また、平日にテレビゲーム（携帯電話・スマートフォンを使用したゲームを含む）や携帯電話・スマートフォンを使用した通話及びメールなどのインターネットをする時間が3時間～5時間に及んでいる生徒の割合がとても多いことがわかり、今後の大きな課題であると考えている。

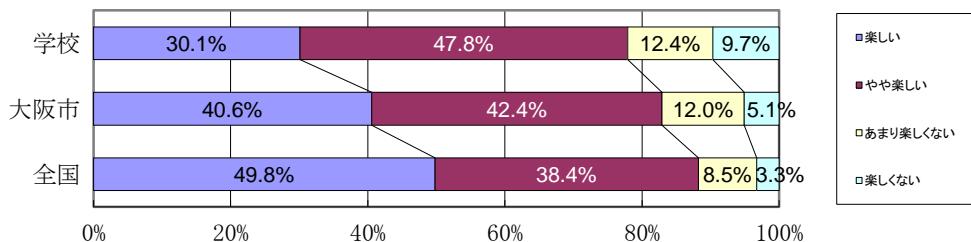
今後の取組

保健の授業の中で健康のために運動や睡眠、食事についての学習を今後も継続して行っていくが、単なる教科書の知識としてではなく、実際の生活を生徒自身が振り返って考えていくための知識としていくように工夫・改善を進めていきたい。また、長時間にわたるテレビゲームやメールなどのインターネットの使用について、生徒と保護者で考える時間を持ってもらえるように啓発活動を進めていきたい。

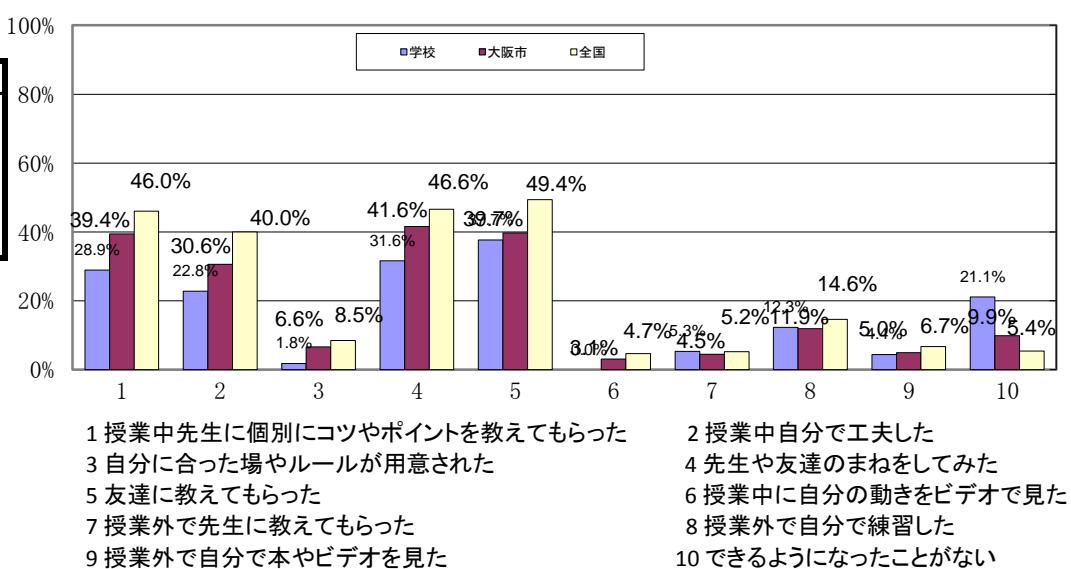
保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

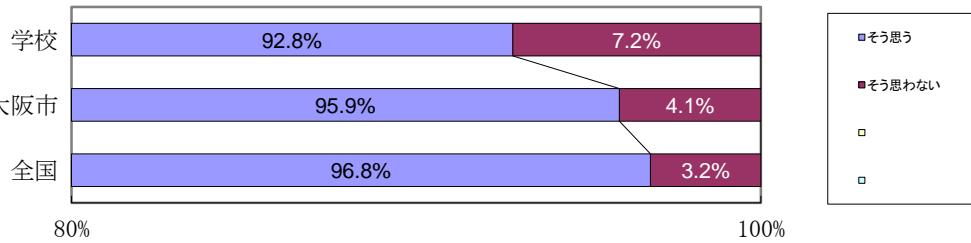
20	保健体育の授業は楽しいですか
----	----------------



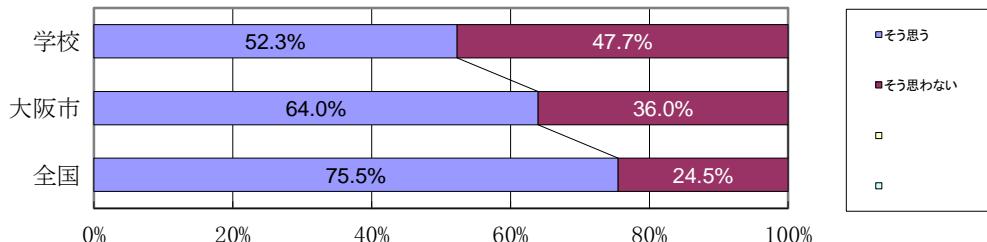
26	これまでの体育の授業で「できなかつたができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか
----	---



25-3	体育の授業であなたはどのように感じていますか。きまりを守ることが大切だ。
------	--------------------------------------



25-6	体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業では、練習やゲームで自ら工夫できる。
------	--



成果と課題

集団行動の指導により、きまりを守る意識がついてきている。しかしながら、「決まりを守る」 = 「言われたことだけすればいい」といったようになってしまい、自分たちで考えて練習するなどの工夫することができていない。「できるようになった」と、感じるとれることができないため、保健体育の授業が楽しいと感じられていない。

今後の取組

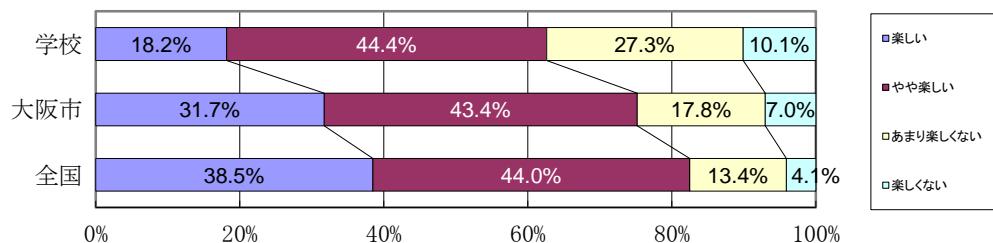
個別の目標設定や、細かい課題設定をすることで、「少しでもできるようになった」と実感できるようになる。できるようになることで自信がつき体育が好きと感じとれるようになると考えている。

正式ルールにとらわれ過ぎず、だれもが簡単にできるようなルール設定を行って、スポーツは楽しいと感じとれる場面を増やしていきたい。初期の設定されたルールに慣れてきた段階で、正式ルールについても積極的に行えるようにする。

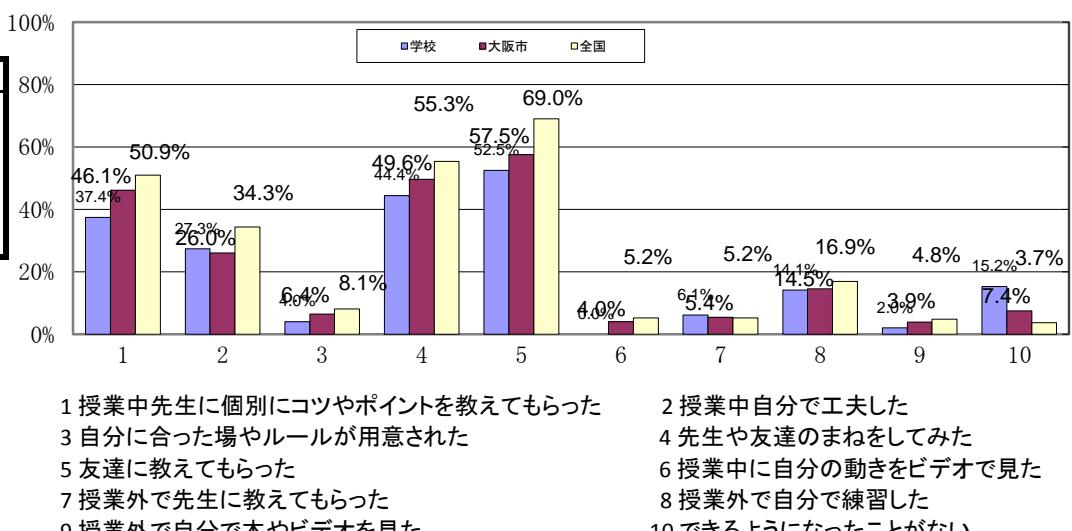
保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

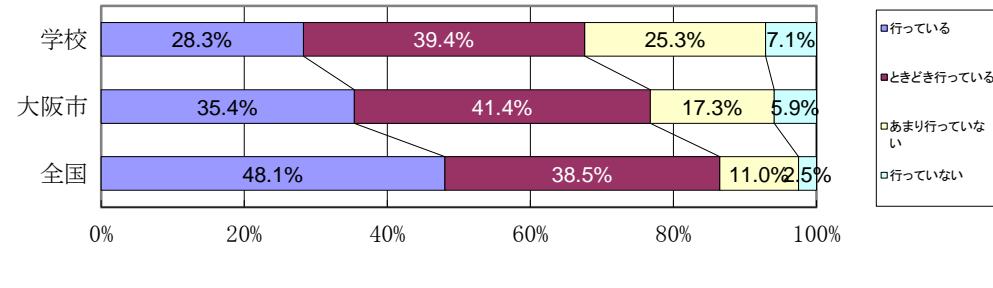
20
保健体育の授業は楽しいですか



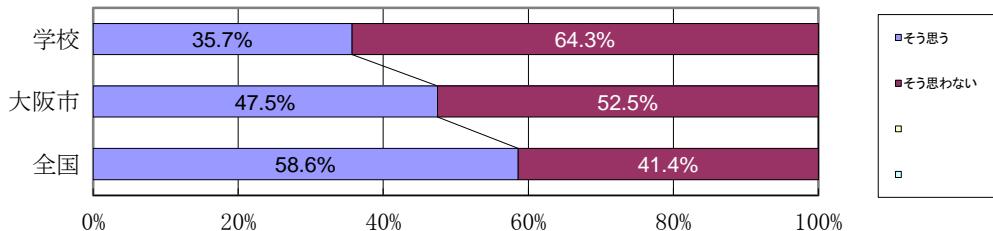
26
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



23
ふだんの体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



25-4
体育の授業であなたはどのように感じていますか。体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみたいと思う。



成果と課題

普段の保健体育の授業に取り組んでいる生徒の様子からはアンケートの結果から読み取れるような受けとめは難しく、保健体育の授業において「楽しい」と感じている生徒が全国平均・大阪市平均に比べて少なく、「楽しくない」と感じている生徒が多かった。また、授業内容においても「できるようになったことがない」という生徒が多いことも「楽しくない」ということにつながっている。今後の授業展開のうえで、「楽しい」「できるようになって嬉しい」と感じれとれるよう指導方法の工夫・改善を進めていきたい。

今後の取組

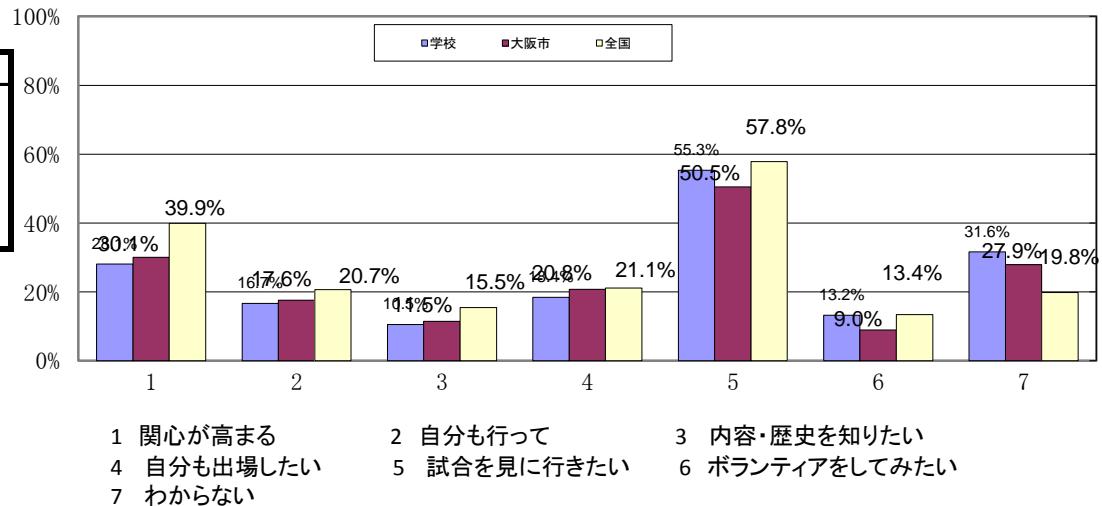
生徒自身が「好き」と感じることが多い種目であっても、「嫌い」と感じることが多い種目であっても、意欲的に取り組めるように指導方法の工夫・改善を進めていきたい。また、学習活動の中で生徒同士で教えあったり、助け合うことで達成感を持つことができるような機会を増やして、互いに喜びを分かち合えるという経験を授業の中で増やすことができるよう授業に取り組んでいきたい。

その他（男子）

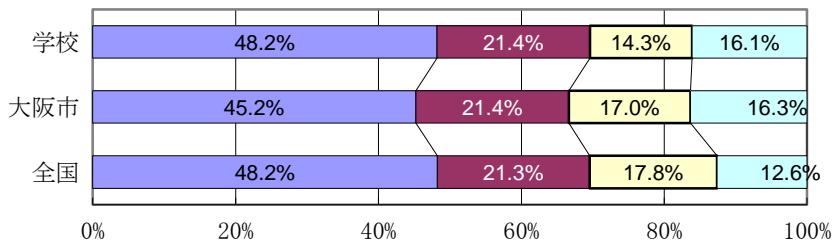
質問番号

質問事項

31
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30
放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



□よくある
■ときどきある
△あまりない
○全くない

成果と課題

今年、オリンピックが開催されることで、生徒が少しあはオリンピックについて意識していると感じられる。授業でオリンピックについて触れることが少ないので、東京オリンピックの開催も近づいてきているので、オリンピックの内容についても授業で展開することができるよう検討していく。

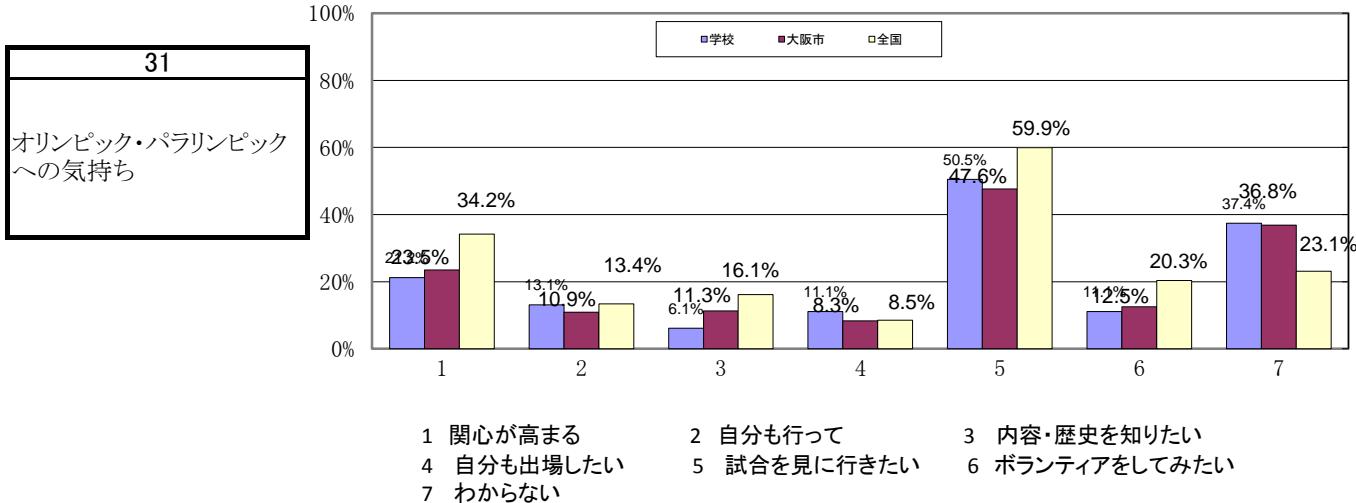
体育の授業以外でも、ボールを投げる等を楽しんでいる生徒が日常的に多く見られ、その結果としてハンドボール投げの平均が、全国平均を大きく上回っている。

今後の取組

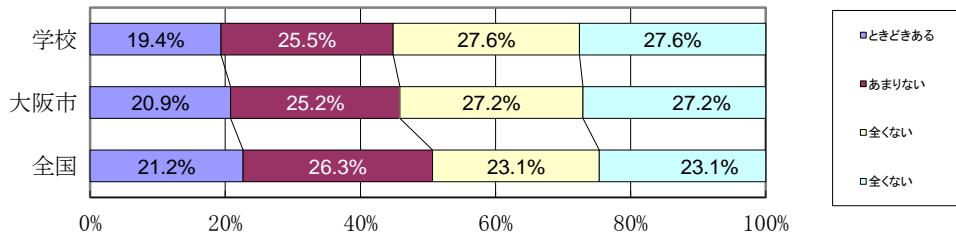
ボールを投げる等のある生徒が非常に多く、ハンドボール投げの平均が高いということについては、毎日の運動の積み重ねが体力向上につながっていることがよくわかる。授業での筋力トレーニングに加えて、瞬発力のトレーニングにも力を入れていきたい。さらには、自宅でもできるような簡単なトレーニングも日常的に指導していきたい。

その他（女子）

質問番号	質問事項
------	------



30 放課後や学校が休みの日に、ボールなどを使って投げる運動をすることがありますか。



成果と課題

オリンピックやパラリンピックについては、まだまだ興味・関心が全体的には低く、「わからない」と感じている生徒が多かったが、一方では「オリンピック種目をやってみたい」「自分もオリンピックに選手として出場したい」などを強く感じている生徒が全国平均・大阪市平均に比べ多いことがわかった。このような意欲を今後一層育んでいけるように授業でも意識して生徒に取り組ませていきたい。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックの日本での開催について、現時点で生徒自身にはまだ関わりが少ないので、保健体育の授業の中でオリンピックの種目を取り入れて触れる機会を増やし、興味・関心の向上へつなげるようにしていきたい。また、体力テストでは握力・上体起こし・ハンドボール投げが全国平均・大阪市平均よりも上回っているが、その他については下回っているので、毎回の授業の中では、特に下半身を素早く動かすといった動作などのトレーニングにも力を入れて継続させて少しづつ運動量を増やしていきたい。